

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。
希望に満ちた新春を、健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから本町のまちづくりに寄せていただいているご支援、ご協力に對しまして、深く感謝申し上げます。

新年を迎え、三月二日から開催します二〇〇九年フリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会は、世界三十三の国と地域から五七〇名のエントリーがあり、今後も数カ国の参加が見込まれるなど、いよいよ開催の気運が高まってきました。本町は、大会を受け入れるホストシティとして、サポーターズクラブをはじめとする町民の皆さんの広報活動や、町内外からの寄付金も続々寄せられるなど町を挙げての受け入れ態勢が整ってきました。「自然との共生」「心からのおもてなし」を基本に、世界に通用する観光地猪苗代町のPRと、イベントの成功に向けて最大限の努力していきますので、より一層の皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本経済は、世界経済の金融不安の影響から消費の低迷、生産の減退、雇用不安と先行き不透明な状態になっております。地域経済に与える影響は大きく、商工・観光・農林業も厳しい局面にさらされています。

このような地方に厳しい情勢が続く中、本町では、「豊かな自然とすべての命を大切にする活気あるまちづくり」を基本理念とした第六次猪苗代町振興計画に基づき、限られた財源を有効に活用し、徹底した経費の節減を図りながら、行財政の効率化を推し進め、住民サービスの向上に努めているところでございます。

また、町立猪苗代病院の建設や亀ヶ城公園体験学習施設の整備、地域資源循環型社会の構築など「人が、自然が、歴史と文化が、そして未来が輝く猪苗代」を目指して、大規模なプロジェクトに取り組んでおります。農業と観光、福祉と教育のまちづくりを今後とも積極的に推進してまいりますので益々のご支援ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆さんにとりまして幸多い年でありますよう心からご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



猪苗代町長 津金 要雄

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

町議会を代表いたしまして新年のごあいさつを申し上げます。
町民の皆さんにはご家族おそろいで、輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、「サブプライム住宅ローン問題」などに端を発した世界的な不況が、アメリカやヨーロッパ、アジアの経済に暗い影を落とし、日本経済を直撃しました。

わが国の経済においても、「国内最大手企業のリストラ」や「大学生の就職内定の取消し」などにより、消費などの内需を喚起する政策を発表しましたが、雇用不安等により消費の低迷は本年も続くことが予想されます。

国における追加経済対策の第二次補正予算の提出は、年明けの通常国会にずれ込み、目玉となっていた総額二兆円の「定額給付金」についても迷走しております。国政が混沌としている中、地方においては、地方分権の推進、三位一体の改革などにより、地方自治体の財政運営は依然として厳しい状況が続いております。

本町においても、定住人口の減少、少子・高齢化の加速、高度情報化の進展、町民の価値観の多様化等により、取り組むべき課題は多岐・多様にわたり、これらの諸課題を解決するため、「第六次振興計画」に基づき、議会と行政とが力を合わせ、英知を結集して、大きな目標に立ち向かっていく必要があります。猪苗代町の将来を担う子どもたちのために、将来を見据えた施策をしなければならぬと考えております。

議会といたしましても、行財政改革推進の中にあつて、開かれた議会を目指し議会改革に取り組んでおります。

議員一人ひとりが、町民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、研さんを重ね資質の向上に懸命に努力してまいりますので、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆さんの限りない幸せと、穏やかな毎日でありますことを念じまして、新年のごあいさつといたします。



猪苗代町議会議長 関澤 和人

